

スタミナと青枯病の強耐病性を両立した
複合耐病性トマト用台木

F1 足じまんキーパー

(MKS-T426)



「はれぞら」と「小鈴シリーズ」に
最適な台木が新登場！

- ✓ 初期の草勢をコントロールして、低段の裂果や異常茎などの生理障害を低減します。
- ✓ 長期栽培でもスタミナを維持して安定した草勢を維持します。

品種特性

栽培特性	<ul style="list-style-type: none"> 初期の草勢は中程度であるが、スタミナがあるため栽培中期以降からやや強めに維持できる。 低温伸長性に優れ直根と浅根のバランスが良く、長期栽培の通期で草勢が安定し、高い果実品質を維持することができる。
耐病性	<ul style="list-style-type: none"> 褐色根腐病と青枯病の耐病性を併せ持つ複合耐病性のためオールシーズンの作型に適する。ただし、強度に青枯れ病に汚染された圃場においては発病の恐れがあるので十分に注意する。 萎凋病レース1、レース2、および近年広がりを見せる新レース3に強い耐病性を持つ。 ToMV (Tm-2)、半身萎凋病レース1、根腐萎凋病に強い耐病性を持つ。 ネコブセンチュウに耐病性中程度。

耐病性比較表

	草勢	ToMV	F1	F2	F3	For	V1	V2	K	B	N
足じまんZ	強	Tm-2 ^a	◎	◎		◎	◎		7	4	○
足じまんボルト	やや強	Tm-2 ^a	◎	◎	◎	◎	◎	◎	6	6	○
足じまん キーパー	中～ やや強	Tm-2	◎	◎	◎	◎	◎		5	8+	○
足じまんSS	中	Tm-2	◎	◎	◎	◎	◎		5	8	○

記号

◎:耐病性強(HR) ○:耐病性中(IR) 1(弱) ~10(強)

耐病虫性の表記

ToMV・・・トマトモザイクウイルス(表記はTm因子型) F1・・・萎凋病レース1 F2・・・萎凋病レース2

F3・・・萎凋病レース3 For・・・根腐萎凋病(J3) V1・・・半身萎凋病レース1 V2・・・半身萎凋病レース2

K・・・褐色根腐病 B・・・青枯病 N・・・ネコブセンチュウ(ネマトーダ)

※穂木はToMV耐病性因子Tm-2またはTm-2^aを持つ品種を使用してください。

※表記中の品種特性は、栽培条件や気象条件により変動することがあります。

※褐色根腐(K)と青枯病(B)の耐病性程度は弊社の基準に準じます。